

経済学部ディプロマポリシー<2026年度以降入学者>

	大学共通	経済学部 経済数理学科	経済学部 現代経済学科
人材育成方針	成蹊大学は「理念・目的」を踏まえ、以下の人材育成方針のもとに教育を行います。 1 広い教養と深い(各学科、各専攻の)専門知識を備え、物事の本質を探究する思考力を養成する。 2 自己の人生観・価値観を確立し、自分の考えや意見を的確かつ明瞭に表現、発信する力を養成する。 3 多様な文化、環境、状況に対応し、他者と協働して課題の解決に取り組む力を養成する。 4 未知のものに積極的に挑み、生涯学び続けようとする自発性と積極性を養成する。		
DP	成蹊大学は、「教育の目標(人材育成方針)」を踏まえ、次のように学位授与の方針を定めます。「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「多様な人々との協働」「表現力、発信力」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された各学科、各専攻の教育課程において、所定の単位を修得した者に対して所定の学位を授与します。	経済学部経済数理学科は、大学全体の学位授与方針に基づき、「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「表現力、発信力」「多様な人々との協働」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対して学士(経済学)の学位を授与します。	経済学部現代経済学科は、大学全体の学位授与方針に基づき、「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「表現力、発信力」「多様な人々との協働」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対して学士(経済学)の学位を授与します。
DP1	【専門分野の知識・技能】 (DP1)(各学科、各専攻の)専門分野に関する知識・技能を修得している。	【専門分野の知識・技能】 (DP1-1) 経済数理学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。 (DP1-2) ミクロ経済学、マクロ経済学の基礎的な概念及び理論を理解している。	【専門分野の知識・技能】 (DP1-1) 現代経済学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。 (DP1-2) 経済学の基礎的な概念及び理論を理解している。
		(DP1-3) 計量経済学、統計学の基礎的な手法を修得し、経済現象を定量的に把握することができる。	(DP1-3) 経済学の基礎的な手法を修得し、サステナビリティの観点から、経済・社会現象を、実践型研究を通して把握することができる。
		(DP1-4) 経済問題、経済政策に関して自ら仮説を立て、それを検証することができる。	(DP1-4) グローバル経済及び地域コミュニティの視点から、社会問題の在処を発見・考察し、自ら仮説を立て、それを検証することができる。
DP2	【教養の修得】(広い視野での思考・判断) (DP2) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。	【教養の修得】(広い視野での思考・判断) (DP2-1) 人文科学、社会科学、自然科学およびこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。 (DP2-2) 経済理論、経済制度だけでなく、人間、社会、歴史等も踏まえた総合的な考察を行うことによって、経済政策の在り方について幅広い議論を展開することができる。	【教養の修得】(広い視野での思考・判断) (DP2-1) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。 (DP2-2) 経済理論、経済制度だけでなく、人間、社会、歴史等も踏まえた総合的な考察を行うことによって、経済政策の在り方について幅広い議論を展開することができる。
DP3	【課題の発見と解決】(情報の調査収集+分析・解釈+論理的思考) (DP3) 課題の本質を発見するために必要な情報(文献、統計等を含む)を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。	【課題の発見と解決】(情報の調査収集+分析・解釈+論理的思考) (DP3-1) 課題の本質を発見するために必要な情報(文献、統計等を含む)を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。 (DP3-2) 新聞、書籍・雑誌、テレビ、インターネット等の多様なメディアにおいて、取得できる知見やデータの所在、種類等を熟知し、必要なときに必要な情報を入手することができる。 (DP3-3) 経済問題の理解に必要なデータを調査収集し、それを定量的に分析し、結果に関して経済理論に立脚して的確な解釈を行うことができるようになっていく。	【課題の発見と解決】(情報の調査収集+分析・解釈+論理的思考) (DP3-1) 課題の本質を発見するために必要な情報(文献、統計等を含む)を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。 (DP3-2) 新聞、書籍・雑誌、テレビ、インターネット等の多様なメディアにおいて、取得できる知見やデータの所在、種類等を熟知し、必要なときに必要な情報を入手することができる。 (DP3-3) 経済・社会問題の理解に必要なデータを調査収集し、それを定量的に分析し、結果に関して経済理論に立脚して的確な解釈を行うことができるようになっていく。
DP4	【表現力、発信力】 (DP4) 自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。	【表現力、発信力】 (DP4-1) 自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。 (DP4-2) 経済のしくみや経済問題の背景等に関して、一般の人にわかりやすく説明できる。 (DP4-3) 経済現象や経済問題に関する理論的、実証的な分析を、わかりやすく文章や図表にまとめることができる。	【表現力、発信力】 (DP4-1) 自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。 (DP4-2) 現代社会問題の背景等に関して、一般の人にわかりやすく説明できる。 (DP4-3) 経済・社会現象や経済・社会問題に関する理論的、実践的な分析を、わかりやすく文章や図表、調査資料にまとめることができる。
DP5	【多様な人々との協働】(コミュニケーション+協調性+チームワーク) (DP5) 多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。	【多様な人々との協働】(コミュニケーション+協調性+チームワーク) (DP5-1) 多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。	【多様な人々との協働】(コミュニケーション+協調性+チームワーク) (DP5-1) 多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。
DP6	【自発性、積極性】 (DP6) 学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。	【自発性、積極性】 (DP6-1) 学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。	【自発性、積極性】 (DP6-1) 学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。